

委員)「オーバーユースに対する諸外国の例(入山規制)」

阿地政美(旭川山岳会副会長)

「大雪山国立公園の適正利用の方策」

コメンテーター・小林昭裕(専修大学北海道短大)「収容力からみた大雪山国立公園の利用のあり方」

パネリスト・コメンテーターによる発表は、いずれも豊富な体験に裏付けられ、学問的水準の高い内容であり、300名におよぶ参加者と熱心な議論が展開された。

今年度の全国集会は、1日多い日程でかつ国際山岳年イベントに協賛という今までにないハードスケジュールでしたが、新妻支部長を始め北海道支部をあげての熱意あふれるそして綿密な企画・運営により成功裏に終えることができました。ありがとうございました。この集会での成果を今後の自然保護活動にぜひ活かしていきたいと考えております。(篠崎 仁)

ミニ水力発電小委員会

クリーンな電力の使い道

上高地山岳研究所のミニ水力発電も本格稼働に入り3回目のシー

ズンを迎えた。発電設備の維持管理をお願いしている管理人(木村太郎・弥生夫妻)の尽力により4月下旬〜10月下旬の開所期間を通して安定した電力の供給が可能になったことから、次の検討課題である「環境保全に役立てるような負荷の使い方」につき調査、検討

ならびに実現へ向けての負荷設置工事を進めてきたが、このほど工事が完成したので以下に報告する。

■負荷設備の検討

発電機定格容量(1KW)の概ね75〜80%を上限として、次の3つの条件を満足する負荷ならびに使用方法を検討した。①合計消費電力が750W程度に収まるもの、②24時間を通して消費電力の変動の少ないもの、③実用的でかつPR効果の高いもの。

管理人を交えて検討した結果、トイレを始めとする地階各部屋の照明(白熱電灯)と換気扇、階段および1階の厨房の照明(同)に決定した。また、商用電源停電時に1階食堂において石油ストーブ運転用の電源と仮設照明用電源も欲しいことから、ミニ水力発電専用の停電用コンセントも併せて設けることとした。なお、従来から

行ってきた生ゴミ処理機や地階資料室の除湿器についても、負荷変動が許容範囲内であることから、継続して使用し、今回の負荷増設分と合わせて実験データをとることにしている。

■負荷設置工事

2001年7月と2002年5月の2回にわたり(株)高電の協力を得て負荷設置工事を実施した。配線にあたりケーブル類は美観を損なわないよう極力天井内隠ぺいとし、やむを得ず露出となる部分は壁や天井の木目調と同系色に塗装したモールに収納した。1回目の

工事では、まず地階への階段と地階各部屋の照明を設置、2回目には森委員長自らもケーブル敷設作業に加わり換気扇のミニ水力発電系統への接続、停電用コンセントならびに厨房の照明の増設を行った。換気扇については既存の天井換気扇に水力発電/商用電源の切替スイッチを設け、通常はミニ水力発電の電力による運転が行えるようにした。

■効果

もともと照度が低かった階段および日中も照明が必要な地階の廊下、トイレなどが常時照明される

ようになり、安全性と利便性が向上した。また、ミニ水力発電のクリーンな電力を照明や換気扇といった山研利用者の目に見える形で利用することにより、我々日本山岳会の自然エネルギー利用研究に対する取り組みのPR効果が期待できる。

■今後の取り組み

引き続き共同研究先の神奈川工科大学より技術面の支援を受けながら、負荷変動に応じた発電機の制御方式の検討など設備運用面における課題に取り組んで行く予定である。(柴山 信夫)

高橋尚子の
ヴァム活用方法は、
ダイエットにも
応用できる。

VAAM
VITAMIN A & MINERAL

株式会社 明治製菓株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
http://www.vaam.co.jp